

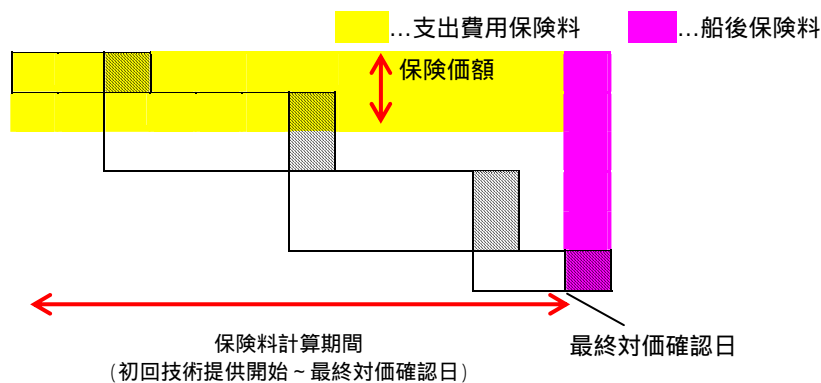
支出費用特約・フルターンキー特約の保険料計算方法

1. 支出費用特約

(1) 保険設計

- 現行体系同様、お客さんの申請額をもって保険価額とする。
 - 「初回技術提供開始日～最終対価確認日」全体を保険料計算期間とする。（保険料計算期間は、0.5 年単位とする。）
 - （ ）現行体系のように、各技術提供ステージの期間に合わせて枝分けをして保険設計することはしない。（「初回技術提供開始日～最終対価確認日」全体の期間で一律設計。）
- このため、リスクを最大限カバーするためには、技術提供の全期間を通じて予想される最大の支出費用額を保険価額として設定する必要がある。

<新体系での保険設計イメージ>



(2) 保険料計算方法

- 支出費用特約用の係数を使用して、次の計算式により適用料率を計算する。
$$\text{適用料率}(\%) = (ax + b) \times \text{てん補調整係数}$$
 - ・期間料率a、最低料率b...支出費用係数を適用する。
 - aは1年あたりの料率
 - a、bとも、非常付保率 97.5%、信用付保率 90%ベースの料率
 - ・期間x...保険料計算期間同様、0.5 年きざみ(0.5、1、1.5、...)
 - ・てん補調整係数...信用危険を不てん補とする場合は、船後の係数cを乗じる。
- 適用国カテゴリは、仕向国のカテゴリを使用。（現行体系と同じ。）

支出費用の料率・係数表

国カテ	a (期間料率)	b (最低料率)	c
A	0.066	0.016	0.67
B	0.136	0.029	0.84
C	0.250	0.054	0.91
D	0.362	0.080	0.94
E	0.454	0.099	0.95
F	0.534	0.116	0.96
G	0.704	0.154	0.97
H	0.932	0.203	0.975

< 計算例 >

保険料計算期間が 0.5 年以内の場合 → $0.5a + b$ ($6a + b$ ではないので注意。)

〃 1 年以内の場合 → $1a + b$ ($12a + b$ ではないので注意。)

〃 1.5 年以内の場合 → $1.5a + b$ ($18a + b$ ではないので注意。)

[参考] 具体的な適用料率 (非常・信用とてん補の場合)

(%)

国カテ	0.5 年	1 年	1.5 年	2 年	2.5 年	3 年
A	0.049	0.082	0.115	0.148	0.181	0.214
B	0.097	0.165	0.233	0.301	0.369	0.437
C	0.179	0.304	0.429	0.554	0.679	0.804
D	0.261	0.442	0.623	0.804	0.985	1.166
E	0.326	0.553	0.780	1.007	1.234	1.461
F	0.383	0.650	0.917	1.184	1.451	1.718
G	0.506	0.858	1.210	1.562	1.914	2.266
H	0.669	1.135	1.601	2.067	2.533	2.999

2. フルターンキー特約

(1) 保険設計

- 現行体系と同様、船後保険価額をそのままフルターンキー特約の保険価額とする。
- 短期案件、中長期案件に関わらず、「期間MS～貨物引渡まで」の期間を申込書に書いてもらい、当該期間を保険料計算期間として保険設計。(当該期間が証券上の保険期間となるが、「FS～期間MS」の期間も含めててん補する。…現行制度と同様。)

(*1) 保険料計算期間は、0.5 年単位とする。

(*2) 現行体系では、短期案件の保険料計算期間は、金額MSを起算としているが、これを

期間MSに一本化。

- (*3) 現行体系では、中長期案件の保険料計算期間は、申込書に記載された期間に関わらず、「期間MS～決済起算点」の期間をシステムで自動算出しているが、新体系では、一律、申込書に記載された期間に基づき保険設計する。

(2) 保険料率計算方法

- フルターンキー特約用の係数を使って、次の計算式により適用料率を計算する。

$$\text{適用料率}(\%) = (a \times x + b) \times \text{商品係数}$$

- ・期間料率a、最低料率b...フルターンキー用の係数を適用する。

aは保険料計算期間1年あたりの料率

a、bとも、非常のみ(付保率97.5%)ベースの料率

- ・期間x...保険料計算期間同様、0.5年きざみ。

- ・商品係数は、個別保険の場合のみ適用。

- 適用国カテゴリは、仕向国のカテゴリを使用。

→現行体系では、支払国ベースで保険料を計算しているが、フルターンキー特約は戦争等によって受ける物損をてん補するものであり、新体系では、仕向国ベースで保険料を計算することとする。

フルターンキー特約の料率・係数表

国カテ	a (期間料率)	b (最低料率)	商品係数 (個別保険のみ)
A	0.010	0.002	3.5
B	0.026	0.003	3.5
C	0.052	0.004	3.5
D	0.078	0.005	3.0
E	0.102	0.006	3.0
F	0.120	0.007	3.0
G	0.160	0.010	2.5
H	0.212	0.013	2.2

< 計算例 >

保険料計算期間が0.5年以内の場合 → $0.5a + b$ ($6a + b$ ではないので注意。)

〃 1年以内の場合 → $1a + b$ ($12a + b$ ではないので注意。)

〃 1.5年以内の場合 → $1.5a + b$ ($18a + b$ ではないので注意。)

[参考] 具体的な適用料率(包括の場合)

国カテ	0.5年	1年	1.5年	2年	2.5年	3年
A	0.007	0.012	0.017	0.022	0.027	0.032
B	0.016	0.029	0.042	0.055	0.068	0.081

C	0.030	0.056	0.082	0.108	0.134	0.160
D	0.044	0.083	0.122	0.161	0.200	0.239
E	0.057	0.108	0.159	0.210	0.261	0.312
F	0.067	0.127	0.187	0.247	0.307	0.367
G	0.090	0.170	0.250	0.330	0.410	0.490
H	0.119	0.225	0.331	0.437	0.543	0.649

以上